

2026年4月13日

北海道後志総合振興局
東急不動産株式会社
東急リゾート&ステイ株式会社

後志地域の地域振興及びリゾート活性化に向けた 包括連携協定の締結について

北海道後志総合振興局（所在地：北海道虻田郡倶知安町、局長：瀧川 雅晴）と東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：田中 辰明、以下「東急不動産」）および東急リゾート&ステイ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：山脇 賢一、以下「東急リゾート&ステイ」）は、2026年4月10日付で包括連携協定（以下、「本協定」）を締結したことをお知らせします。



■締結の背景

後志地域は北海道南西部に位置し、世界的なリゾート地である「ニセコ観光圏」、史跡・伝統文化に富んだ「日本海の海岸線」、積丹半島に位置する「神威岬」、日本百名山のひとつに数えられる「羊蹄山」、さまざまな泉質の80を超える温泉など多くの観光資源にくわえて、ブランド力の高い野菜や米、果物の生産、地域の農産物で作られる地酒やワインをはじめとするアルコール類やジュースの生産など、北海道の美しい自然と観光・食資源に恵まれた地域です。

その中でも、東急不動産および東急リゾート&ステイは、「ニセコ観光圏」を代表するスキー場「ニセコ東急 グラン・ヒラフ（以下、グラン・ヒラフ）」を運営し、アジア No.1 の国際的オールシーズン型リゾートの実現に向けて、ハード・ソフト両面からの取り組みを推進しながら後志地域の観光振興に貢献してきました。

本協定は、後志地域全体における活力ある地域社会の形成および持続可能なオールシーズン型リゾートエリアの形成を一層推進するため、三者が官民一体でこれまでの連携をより深化させるとともに、環境への配慮や地域課題への対応など、多岐に渡って相互に協力して取り組むことを目的として締結するものです。

■本協定の概要

(1) 目的

北海道後志総合振興局と東急不動産および東急リゾート&ステイが、社会環境の変化や地域資源・課題について共通認識を持ち、それぞれが有する知的・人的資源を有効に活用するなどし、互恵的な関係を構築するとともに、地域の豊かな自然環境を活かし、多様な分野における協働を通じて、活力ある地域社会の形成および持続可能なリゾートエリアの実現を目的といたします。

(2) 連携事項

- ・後志地域の観光振興に関すること
- ・後志地域の食振興に関すること
- ・後志地域の人材確保・育成に関すること
- ・後志地域の環境政策に関すること
- ・その他本協定の目的を達成するために必要な事項に関すること

■本協定パートナーについて

北海道後志総合振興局

北海道後志総合振興局は、倶知安町に位置し、後志地域の1市13町6村を所管する北海道の行政機関です。後志地域には、3つの自然公園を有する豊かな自然、歴史・文化、食など多彩な魅力があり、小樽市やニセコ地域を中心に、国内外から年間約2,371万人(令和6年度)の観光客が訪れる北海道を代表する観光エリアとなっています。地域の強みを活かし、後志地域がさらに活力あふれる地域となるよう、観光や食産業の振興、農林水産業における付加価値の向上、人材確保等、様々な地域課題に取り組んでおり、「魅力ある ShiriBeshi の磨き上げ」「地域を担う多様な人材の定着」「環境と調和した地域づくり」を政策の柱として、地域の皆さまと連携しながら、様々な施策を展開しています。

東急不動産株式会社

東急不動産は、東急不動産ホールディングス株式会社の中核企業として渋谷に拠点を有する総合デベロッパーです。東急不動産ホールディングス株式会社が2021年5月に発表したグループ指針となる長期ビジョン「GROUP VISION2030」と2025年5月に発表した「中期経営計画2030」の実現に向け、多様なソリューションメニューに基づく豊富な実績や、幅広い事業領域を活かしたグループ連携、パートナーとの共創により、ありたい姿である「価値を創造し続ける企業グループへ」の実現を目指しています。都市事業、住宅事業、インフラ・インダストリー事業、ウェルネス事業、海外事業などを幅広く展開しており、長期経営方針のテーマとして「環境経営」を掲げ、社会に貢献する不動産会社として、都心だけでなく地方での事業展開にも注力しています。

東急リゾート&ステイ株式会社

東急リゾート&ステイは、東急ステイや東急ハーヴェストクラブをはじめ、ホテル・ゴルフ・スキー・EC事業など、全国に運営施設を展開しています。1960年代から別荘管理やゴルフ場の運営を手がけ、1980年代にはスキー場の運営や東急ハーヴェストクラブの運営受託を開始。1990年代には「東急ステイ」を立ち上げるなど、長年にわたり多彩な施設運営を行ってきました。現在、当社が運営する施設では国内のみならず世界中から多くのお客様を受け入れており、年間利用者数は約800万人にのぼります。

豊富な実績とノウハウ、地域・企業・行政などとの強固なネットワークを活かし、日本各地の魅力を伝え、すべてのお客様に新しい”楽しさ”と”体験”を提供することを目指しています。

■ニセコ東急 グラン・ヒラフについて <https://www.grand-hirafu.jp/>

ニセコ東急 グラン・ヒラフでは、国際的マウンテンリゾートとして更なる利便性向上・輸送力向上・来場者の体験価値向上を目指して「Value up NISEKO road to 2030」プロジェクトの取り組みを進めています。2026年度までの3年間で100億円超の投資の一環として、今シーズンは新施設「NEST813」、「ALPEN NODE」を2025年12月20日に同時オープンし、またキング第3リフトを6人乗りチェアリフト「キング第3シックスバック」に更新いたしました。

ニセコ東急 グラン・ヒラフは22のバリエーション豊かなコースを持ち、日本百名山にも数えられる羊蹄山を眼前に望みながら滑走が楽しめるスキー場です。その豊富な雪量とパウダースノーと呼ばれる雪質は、国内外問わず多くのスキーヤー・スノーボーダーを魅了しています。